

星置東小学校開放図書館だより 読書週間特別号

読書スタンプラリー



～感動に出会う秋～



星置東小学校開放図書館運営委員会

令和8年9月10日

あさゆうす 朝夕涼しく、むし 虫の音も聞こえます。どくしょ 読書にふさわしいきせつ 季節がやってきましたね。いつも、よい本を借りている皆さんですが、ライブラリーの中には、おもしろい本がまだまだあります。さまざまな本の良さを知ってほしいと願い、今年度も読書スタンプラリーを企画しました。



スタンプラリーのルール



◆スタンプラリーの期間は、9月15日（火）から11月26日（木）です。

◆スタンプラリーカードを、必ず持ってライブラリーにきてください。

◆1年生、2年生、ほほえみさんの本は書架（本棚）から出して並べておきますので、そこから選んでください。3年生以上の学年は、書架から本をさがしてみしましょう。

◆スタンプラリーカードの本を借りる時は、一人1冊までです。

◆本を借りたその日に返すことはできません。ゆっくり読んでくださいね。

◆借りる時に、スタンプがもらえます。スタンプが5つで、すてきなしおりをさしあげます。5冊目の本を読んで、返す時ですよ。



《1年生》

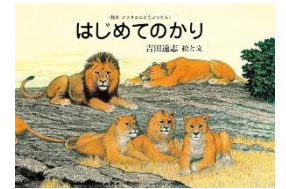
「かこ さとし おはなしのほん」シリーズ

「どろぼうがっこう」「からすのパンやさん」「おたまじゃくしの101ちゃん」…。挿し絵もたっぷり、読んで楽しい、かこさとしの絵本、おすすめです。



「吉田遠志・動物絵本」シリーズ

アフリカのサバンナに生きる野生の動物たち。大自然の中で、いのちが輝きます。親子でぜひ読んでほしいシリーズです。



《2年生》

「北の森の動物たち」「神々の物語」シリーズ

北海道のシマフクロウやヒグマの親子が、生き生きとして、感動が胸に広がります。手島圭三郎の版画が見事です。「神々の物語」も、この機会にぜひ読んでくださいね。



「ミルキー杉山のあなたも名探偵」シリーズ

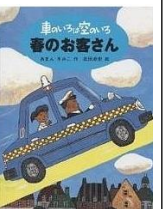
ユーモアあふれるおもしろいおはなしに、夢中になることでしょう。あなたも、きっと名探偵！



《3年生》

あまん きみこの本（絵本も含む）

国語の教科書で「ちいちゃんのかげおくり」を読んだ人もいることでしょう。絵本「きつねのおきゃくさま」「おにたのぼうし」物語「車のいろは空のいろ」など手にとってほしいですね。



松谷 みよ子の本（絵本も含む）

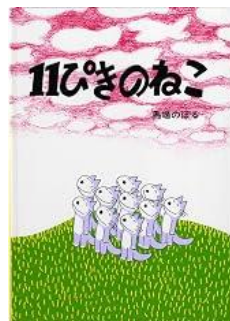
ももちゃんの誕生から、3歳になるまでを描いた『ちいさいももちゃん』。妹も生まれ、物語はつづきます。



《ほほえみさん》

「11ぴきのねこ」シリーズ

おなかのすいたねこたちが、海で大きな大きな魚をつかまえた。いかに船で運ぶ、その途中ねこたちは…。作者、馬場のぼるの、あたたかくユーモアたっぷりの絵本で、楽しい読書をどうぞ！



アーノルド・ローベルの本

がまくんとかえるくんのおはなし「おてがみ」が記憶に残っている人も多いと思います。「ふたりはともだち」「ふたりはいつも」等、がまくんとかえるくんの友情に、胸の中があたたかくなりますよ。ねずみが主人公の「おはなしばんざい」もおすすめ。いたちに食べられずに済んだねずみを救ったのは、「おはなし」でした。

《4年生》

新美 南吉の本（絵本も含む）

大正生まれの新美南吉の作品は、今も輝きを放っています。「手ぶくろを買いに」の絵本は、いろいろな画家が挿し絵を描いています。違いを楽しみながら読んでみてください。「新美南吉童話選集 こどものすきなかみさま」には、短いながら、心にしみる物語が収められています。



柏葉 幸子の本

「千と千尋の神隠し」に影響を与えたとと言われる「霧のむこうのふしぎな町」、東北の民話を下地とした「岬のマヨイガ」、本の中から飛び出したはだかの王様と司書のおはなし「つづきの図書館」…。どれも、わくわくする中で、主人公が成長し、しあわせになるのがうれしい物語です。



《5年生》

富安 陽子の本

子どものころから、昔話を聞いて育った富安陽子は昔話をベースに楽しいおはなしを生み出しています。信田妻という昔話がもとになった、「シノダ！チビ竜と魔法の実」、元気なやまんばの親子のおはなし「まゆとおに」も読んでみてほしいです。



「星新一ショートショートセレクション」

小説の中でも、特に短いものをショートショートとよんでいます。朝読書に良いかもしれませんね。話のひとつ「番号をどうぞ」は、コンピューターに管理された社会で、自分を証明する番号を忘れ、困惑する男の話。気軽に手にとってみてくださいね。



《6年生》

宮沢 賢治の本

明治、大正、昭和を生きた宮沢賢治の文学は、今やさまざまな言語に翻訳され、海外に紹介されています。「銀河鉄道の夜」「注文の多い料理店」「猫の事務所」「風の又三郎」…。読みやすい絵本も豊富な言葉の世界を味わいましょう。



岩波少年文庫

洋服ダンスの中に入ると別世界が広がっていた「ライオンと魔女」、石井桃子の翻訳が美しい『クマのプーさん』…映画やアニメにもなった作品です。手にとりやすい文庫本なので、たくさん読んでほしいですね。



ごく一部の紹介ですが、参考にして、参加してみましょう！
5冊すべて読んだ人は、もう1回チャレンジしてもいいです。

